

学校だより

我武者羅

上野原西中学校 学校通信

第 5 号

令和 4年 8月 29日 (月)

文責 校長 長谷川 英信

TEL 62-3103

9月 1日は「防災の日」！ 学校の安全、安心を生徒と共に考える！

2学期が始まりました。34日間の夏休みを終え、心も体も成長し目を輝かせて登校する生徒達の様子を見ていると嬉しくなります。毎朝元気よく挨拶してくれる姿に、2学期のやる気を感じ学校生活を充実させるパワーを感じます。2学期初日には地震の発生予想を受け、市から避難指示が出たことを想定した「避難訓練」が実施されました。生徒達は真剣に避難し、先生方の話をしっかり聞いていました。9月1日は防災の日です。これは1923年の「関東大震災」、1959年の「伊勢湾台風」、この2つの大災害が共に9月に発生したことを受け、地震・台風などの災害について認識を深め、災害に対処する心構えを準備する目的で1960年に制定されました。この日には、毎年全国で大規模な避難訓練が実施されています。日本中で災害に備えて、悲劇を繰り返さぬようシュミレーションをし、「もしも大災害が起こってしまったらどのように行動するのか」このことについて考えてみる日となっています。関東大震災は、9月1日午前11時58分に発生しました。お昼時ということもあり37万3000戸の建物が火災や揺れで倒壊しました。10万5000人の方々が命を失ってしまいました。また「伊勢湾台風」では5000人以上の方々が命を失ってしまいました。自然の猛威に打ちのめされた大きな災害となってしまいました。このことは遠い昔の出来事ではありません。最近でも、地震や台風、大雨による川の氾濫、土砂崩れ等、毎年のように多くの方が被害に遭っています。今回の避難訓練では、中学生に対して「もし、災害に遭ってしまったら」とシュミレーションする重要性から担任と共に考える時間をとってもらいました。一人一人の心構えや、事前の準備がどれだけ大切であるか改めて考え、自分や家族、仲間の命を守る取組を進める必要性に気付いてもらいたいと思いました。とにかく「自分事として」考えてほしいのです。教頭より配布された資料では、「緊急地震速報について」「地域のハザードマップの活用について」「防災グッズの確認について」「地域ぐるみの支え合いの重要性について」の項目で詳しく説明されていました。今後、学校だけでは対処できない事態も想定されます。家庭、地域で非常事態について話し合っておくことも必要です。是非、この機会にご家庭でも話題にしてください。子供たちには、「自分の命は自分で守る」「自ら判断し動ける避難活動」を教えています。ご家庭での指導もよろしくお願い致します。



今だに終息しない新型コロナウイルス感染症！ これまで通りの予防対策の徹底をお願いします！

夏季休業中から引き続き、2学期に入っても新型コロナウイルス感染症の感染状況が良くない状況にあります。本校においても、感染してしまったり家族の感染で濃厚接触者になってしまったりと学校を休む生徒が出てきています。学校が始まり生徒たちが集まる機会が増え、心配するご家庭や生徒がいると思います。学校では、県のガイドラインに沿ってマスクの着用、手洗い手指消毒の励行、三密の回避、換気の徹底を職員、生徒が一丸となって取り組んでいます。また生徒、職員共に毎朝の体温チェックを行い、体調管理に万全を期しています。エアロゾル感染についても、マスク着用の徹底と安全距離の確保で感染をだいたい防げるとのことです。2学期には、多くの行事がありこの取組で生徒達は人として大きく成長します。生徒達も楽しみにしている学園祭もあります。生徒たちはこの日に向け1学期から準備を進めてきています。今後の感染状況がとて心配にはなりません。学校としては、感染予防対策を万全にし、取り組ませていきたいと考えています。感染防止に向け一人一人が意識して取り組むことが大切です。ご家庭でもご指導をお願いいたします。具体的な症状として、だるさ（倦怠感）、のどの痛み、頭痛、味覚障害などの様です。熱が高くないこともあるようですので熱がないから大丈夫と考えず、受診していただくようお願いいたします。市内では、小学生、高校生の感染が増えています。多くの児童生徒が軽症で済んでいるようですが油断はできません。「まず、感染しない」この取組を徹底していきたいと思います。また、陽性については症状がある場合は10日間、症状がなければ7日間の自宅療養。同居による濃厚接触者については、5日間の自宅待機です。またこの間の2日目、3日目に簡易キットによる抗体検査で2回の陰性が分かれば3日目から登校可能になります。保健所の指示もこのようになっています。家庭内に感染者がいれば「見なし陽性」ということで検査無しに陽性の診断が出るケースもあります。医師、保健所の指示等についても学校への連絡をお願い致します。

吹奏楽部！山梨県吹奏楽コンクール金賞受賞！ 毎日の努力が結果へ

7月24日（日）第62回山梨県吹奏楽コンクールが甲府市で開催されました。この日に向け吹奏楽部の生徒達は、猛練習をしていました。本校吹奏楽部は、これまで関東、全国へ出場したこともあり、強豪として県下に名前が知られています。このため毎年生徒達には大きなプレッシャーがかかります。その中でもあっても部長を中心に、部員が一丸となって日々の練習に取り組んでいました。吹奏楽は、部員一人一人の音を1つにまとめ、音楽を作り出していく取組です。息を合わせ、心を合わせ音を出すだけでも難しい楽器で個々の思いを音として、そしてハーモニーとして表現しなくてはなりません。誰一人手を抜くことができない集団としての力が問われる取組です。曲として仕上げるだけでも部員達は多くの困難を乗り越えてきています。さらに西中らしさを表現するためには、予想を上回る苦労があったに違いありません。本当によく頑張りました。この他、夏期休業中には部活動の県大会も開催され、支部代表として、卓球部、剣道部、陸上部が参加しました。今年は新体操へも参加する生徒がありました。3年生はこの大会で引退となります。是非、進学後も部活動を続けてもらいたいものです。新たな目標を掲げ、頑張ってください。

